先輩から学ぶ

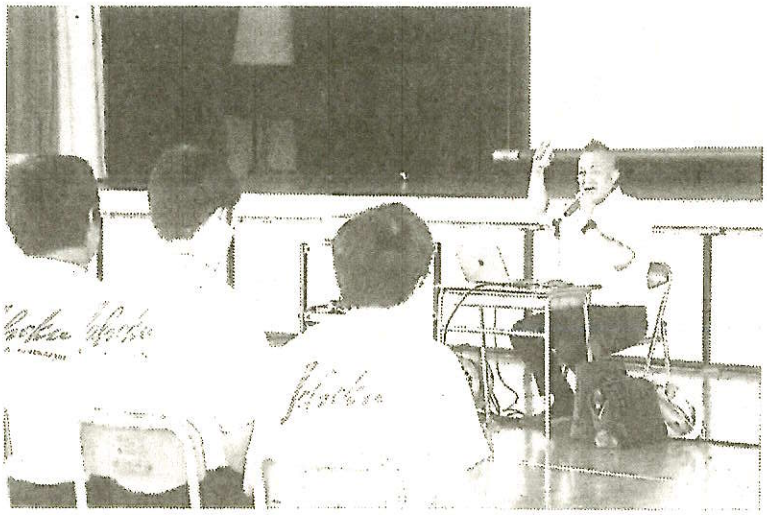
岡崎市立城北中 職場体験前に講演会

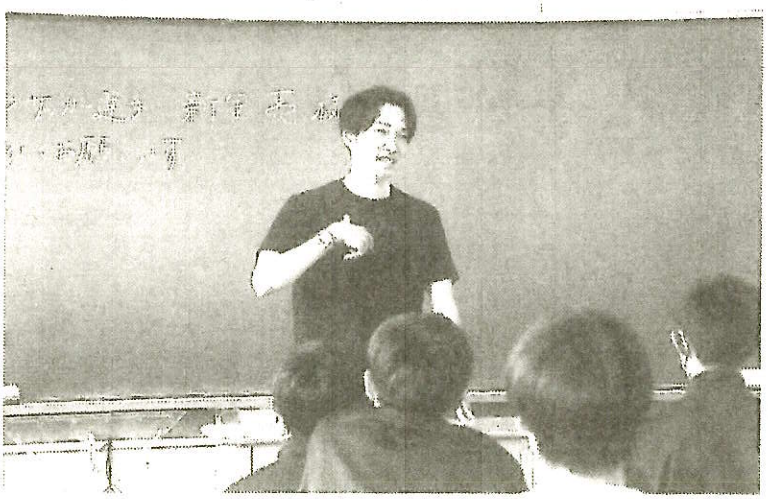
岡崎市立城北中学校で17日、卒業生らによる「職場講演会」が行われた。同校の卒業生を含む社会人6人が2年生約170人に働くことへの意義を話したり、将来への助言をしたりした。

この授業は、9月に実施を予定している2年生の職場体験の事前学習として計画した。最初に、卒業生で同校PTA会長の佐野文俊さんが、学生と社会人の違いを説明。学びについては「学生時代は授業で教えてもらえるので受け身でも学べるが、社会人になったら先輩に聞くなど、主体的に学ばなければならない。社会には先生はいない。自分で判断し、問題の解決策を見つけていくための基礎が学生時代の勉強だった。皆さんは今なら変わることができ、どんな方向にでも行ける」と励ました。

佐野さんの講演後は、市内の飲食店経営者や市職員らが仕事内容やその仕事を選んだ理由を説明し、働きがいや思い出などを紹介した。岡崎出身のプロサッカー選手で元Jリーガーの新里亮さんは、自身の体験談から「大学時代に就職が決まってからもどうしてもプロ選手になりたくて、思い切って周囲に話したら周りが動き出した。夢や目標は誰かに伝えてみてほしい」と述べた。

生徒の1人は「自分から行動を起こすことの大切さが分かった。積極的に勉強していろんな知識を蓄えて、誰かの役に立ちたい」と決意を新たにした。（横田沙貴）





生徒に働く意義について話す佐野さん（上）と、体験談を語る新里さん＝岡崎市立城北中学校で

子どもの健全育成へ

刈谷市の人材派遣会社 岡崎の2者に物品寄贈

人材派遣業の株式会社ヒューマン（本社刈谷市）の里さんに寄贈品を手渡した。毛関元隼署長と年～中学3年の21人が通っており、1人1本ずつ竹刀が贈られる。同会に子どもを通わせている保護者の浅井さんは「頂いた竹刀を大切にして、さらに稽古を頑張ってほしい」と思いを込めた。

いたことから、「警察の活動に役立ててほしい。子どもたちに武道を通じて健全に育ってほしい」との思いで寄贈した。

また、本社のある三

企画から印刷まで
カタログ・チラシ
記念誌・帳票等
永田印刷所
岡崎市亀井町（竜田公園北入）
電話 〈0564〉21－7272（代）
FAX 〈0564〉21－7273

トップ選手

来月6日 豊田ラグビ

豊田スタジアムで7月6日午後6時から、ラグビーの国際大会「リポビタンDチャレンジカップ2024」のJAPAN XV（日本代表に準じるセカンドチーム）－ニュージーランドのマオリ・オールブラックス戦が行われる。試合開始前の午後4時～5時30分にはスタジアム西イベント広場で豊田市による啓発イベント「ラグビーでジェンダー平等を実現しよう！」が開かれる。

トヨタヴェルブリッツや豊田自動織機シャトルズ愛知の選手、中部電力ラグビー部OB、豊田通商ラグビー

救急搬送されたが、午後5時30分に死亡した。同乗していた同市に住む会社員男性（19）は膝を擦る軽傷を負ったが、命に別条はないという。